
開講科目名：企業法研究Ⅰ演習（4単位）

開設年次：2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：加藤 徹

《授業の概要》

1. 授業の概要

会社法上の主要な問題である設立・株式制度・機関制度・資金調達制度および企業公示（商業登記）制度の諸制度について、これまでの重要判例を研究素材としてとりあげ、それぞれの判例が提示する問題点について、制度の立法趣旨・解釈上の学説の動向をふまえながら、総合的に検討する。

また修士論文の作成に関しては、受講生の皆さんが興味をもつテーマを、それぞれ提示してもらって、一緒に検討をおこない、修士論文の作成に向けて、指導をおこなう。受講生が検討すべきテーマをまだ見出せていない場合には、テーマを発見することができるよう、アドバイスをこなう。

[授業の内容]

1. 会社の設立
2. 株式の譲渡制限
3. 株式の共有
4. 新株予約権の無償割当てと差し止め請求
5. 株主総会
6. 取締役の責任（対会社責任）
7. 経営判断原則
8. 役員報酬
9. 取締役・会社間の利益相反取引
10. 内部統制システムと取締役の責任
11. 取締役の対第三者責任（1）
12. 取締役の対第三者責任（2）
13. 取締役の対第三者責任（3）
14. 合併比率と合併無効
15. 商業登記の効力

以上

2. 評価方法

授業報告およびレポートで成績評価をおこなう。

《テキスト》

とくにありません。

《参考書》

授業中に適宜指示する。